



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	43,585	10.9	2,299	16.7	2,477	1.0	1,423	6.3
30年3月期第2四半期	39,289	24.1	2,760	112.3	2,453	55.5	1,519	52.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,671百万円 (7.3%) 30年3月期第2四半期 1,802百万円 (56.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	176.68	
30年3月期第2四半期	190.22	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	57,495	35,222	54.3	3,861.56
30年3月期	58,126	33,915	51.8	3,748.40

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 31,197百万円 30年3月期 30,129百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		15.00		45.00	60.00
31年3月期		30.00			
31年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	7.9	5,000	17.5	5,100	13.5	3,200	12.0	398.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	8,867,000 株	30年3月期	8,867,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	787,976 株	30年3月期	829,176 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	8,056,708 株	30年3月期2Q	7,987,252 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心に、堅調に推移しましたが、米中の貿易摩擦に端を発した保護主義頭領のリスクが高まりました。わが国経済は、自動車や半導体の需要が堅調で、企業物価が上昇し、設備投資も旺盛でした。運賃などの経費や、資材・部品などの仕入価格は、軒並み上昇しました。また、労働力市場は、逼迫したままで、実質的に完全雇用の状態にありました。当社グループ（当社及び連結子会社）の主要原材料である銅の建値は、第1四半期連結会計期間にトン当たり80万円台を付けましたが、第2四半期連結会計期間に入るとやや下落して70万円台で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、銅相場が前年同期と比較して高い水準だったため、売上高は435億85百万円（前年同期比10.9%増加）となりました。一方、営業利益は、銅相場が第2四半期連結会計期間に下落したため、22億99百万円（同16.7%減少）となりました。経常利益は、前年同期に98百万円発生した原料相場のリスクヘッジのためのデリバティブ損失が発生せず、デリバティブ評価損が20百万円（前年同期は2億83百万円）の発生に止まったため、24億77百万円（前年同期比1.0%増加）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は14億23百万円（同6.3%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

## ①伸銅

伸銅事業では、販売量は5万3,485トン（前年同期比0.1%増加）となりました。売上高は367億39百万円（同10.4%増加）となり、セグメント損益は14億60百万円（同35.5%減少）のセグメント利益となりました。

## ②精密部品

精密部品事業では、売上高は22億8百万円（前年同期比11.1%増加）となり、セグメント損益は1億39百万円（同369.2%増加）のセグメント利益となりました。

## ③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は46億37百万円（前年同期比15.5%増加）となり、セグメント損益は5億61百万円（同68.8%増加）のセグメント利益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は408億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億40百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が2億1百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が6億7百万円、たな卸資産が3億73百万円減少したことによるものであります。固定資産は166億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加しました。この結果、資産合計は574億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億30百万円減少しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は200億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億44百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億3百万円、短期借入金が5億60百万円、未払法人税等が6億96百万円減少したことによるものであります。固定負債は22億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円減少しました。この結果、負債合計は222億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億37百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は352億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億6百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が14億23百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は54.3%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	801	1,002
受取手形及び売掛金	24,995	24,388
商品及び製品	5,461	5,233
仕掛品	5,472	5,497
原材料及び貯蔵品	4,552	4,381
その他	291	423
貸倒引当金	△98	△91
流動資産合計	41,475	40,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,199	10,275
減価償却累計額	△4,845	△5,009
建物及び構築物 (純額)	5,353	5,266
機械装置及び運搬具	20,517	20,951
減価償却累計額	△18,229	△18,619
機械装置及び運搬具 (純額)	2,287	2,332
土地	6,508	6,480
建設仮勘定	155	155
その他	1,554	1,605
減価償却累計額	△1,348	△1,396
その他 (純額)	205	209
有形固定資産合計	14,511	14,444
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	212	261
その他	20	19
無形固定資産合計	232	280
投資その他の資産		
投資有価証券	1,416	1,466
退職給付に係る資産	26	26
繰延税金資産	404	389
その他	258	252
貸倒引当金	△199	△199
投資その他の資産合計	1,907	1,935
固定資産合計	16,650	16,661
資産合計	58,126	57,495

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,746	6,143
短期借入金	10,740	10,180
未払金	119	109
未払費用	800	732
未払法人税等	1,480	784
賞与引当金	921	944
設備関係支払手形	444	471
その他	604	648
流動負債合計	21,858	20,014
固定負債		
長期借入金	279	160
繰延税金負債	401	412
再評価に係る繰延税金負債	280	280
引当金	29	0
退職給付に係る負債	1,112	1,168
その他	247	236
固定負債合計	2,352	2,259
負債合計	24,211	22,273
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,339	4,339
利益剰余金	23,224	24,248
自己株式	△856	△815
株主資本合計	29,464	30,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	136
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△26	△32
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	664	667
非支配株主持分	3,786	4,024
純資産合計	33,915	35,222
負債純資産合計	58,126	57,495

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	39,289	43,585
売上原価	34,473	39,204
売上総利益	4,815	4,380
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	530	528
給料及び手当	502	538
退職給付費用	22	13
貸倒引当金繰入額	10	—
その他	990	1,001
販売費及び一般管理費合計	2,055	2,081
営業利益	2,760	2,299
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	18
デリバティブ利益	—	38
デリバティブ評価益	—	63
業務受託料	24	24
その他	69	97
営業外収益合計	113	243
営業外費用		
支払利息	4	5
為替差損	6	11
デリバティブ損失	98	—
デリバティブ評価損	283	20
その他	27	27
営業外費用合計	420	65
経常利益	2,453	2,477
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	54	0
補助金収入	32	35
その他	6	—
特別利益合計	93	36
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産売却損	0	38
投資有価証券売却損	10	—
その他	—	3
特別損失合計	11	42
税金等調整前四半期純利益	2,535	2,472
法人税等	808	813
四半期純利益	1,726	1,658
非支配株主に帰属する四半期純利益	207	235
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,519	1,423

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	1,726	1,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	18
為替換算調整勘定	△0	△5
退職給付に係る調整額	44	0
その他の包括利益合計	75	12
四半期包括利益	1,802	1,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,595	1,427
非支配株主に係る四半期包括利益	207	244



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,535	2,472
減価償却費	702	672
有形固定資産除却損	1	0
有形固定資産売却損益(△は益)	0	37
投資有価証券売却損益(△は益)	△44	△0
為替差損益(△は益)	6	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	22
環境安全対策引当金増減額(△は減少)	—	△29
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	91	56
受取利息及び受取配当金	△19	△18
支払利息	4	5
売上債権の増減額(△は増加)	△2,459	576
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,255	358
その他の流動資産の増減額(△は増加)	60	△13
仕入債務の増減額(△は減少)	△87	△560
未払消費税等の増減額(△は減少)	54	△79
デリバティブ評価損益(△は益)	283	△43
その他の流動負債の増減額(△は減少)	98	△28
その他	△79	78
小計	△76	3,512
利息及び配当金の受取額	19	18
利息の支払額	△4	△5
法人税等の支払額	△625	△1,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	△686	2,035
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△467	△641
有形固定資産の売却による収入	—	11
無形固定資産の取得による支出	△3	△49
投資有価証券の取得による支出	△127	△24
投資有価証券の売却による収入	341	0
貸付けによる支出	—	△175
貸付金の回収による収入	10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247	△877

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,270	△560
長期借入金の返済による支出	△201	△119
自己株式の処分による収入	102	130
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△132	△397
非支配株主への配当金の支払額	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,038	△952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	103	201
現金及び現金同等物の期首残高	752	801
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	31	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	888	1,002

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	33,288	1,987	4,013	39,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,006	33	0	2,040
計	35,294	2,021	4,013	41,330
セグメント利益	2,265	29	332	2,627

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,627
セグメント間取引消去	407
全社費用	△275
四半期連結損益計算書の営業利益	2,760

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	36,739	2,208	4,637	43,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,075	34	0	2,110
計	38,814	2,243	4,638	45,695
セグメント利益	1,460	139	561	2,161

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,161
セグメント間取引消去	399
全社費用	△261
四半期連結損益計算書の営業利益	2,299

(重要な後発事象)

該当事項はありません。